

■清須市の認知症への取組について

1 清須市の高齢者の状況

(各年 10 月 1 日現在)

年度	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
総人口	69,413 人	69,132 人	68,966 人	68,720 人	68,858 人
65 歳以上	16,253 人	16,182 人	16,173 人	16,068 人	16,036 人
	23.4%	23.4%	23.5%	23.4%	23.3%
75 歳以上 (再掲)	8,305 人	8,598 人	8,934 人	9,218 人	9,437 人
	12.0%	12.4%	13.0%	13.4%	13.7%

清須市の高齢化率は、約 23%であり、高齢社会であると考えられる。愛知県、国の数値よりは低い数値である。75 歳以上の割合が高くなっている。

- ・認知症が原因での行方不明高齢者数（西枇杷島警察署からの情報提供）

(令和 7 年 12 月末現在)

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
行方不明高齢者数	—	18 人	13 人

家族からの行方不明連絡があり、同意が得られた方は県内の警察署に捜索の依頼を出す。一般市民の発見が一番多い。この制度は令和 6 年 3 月に開始された。

2 認知症施策について

(1) 相談体制

- ・総合相談（地域包括支援センターに委託）

(令和 7 年 12 月末現在)

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度(4 月～12 月)
総合相談件数	18,283 件	18,802 件	13,993 件
（うち認知症関連）	(1,788 件)	(1,244 件)	(783 件)
成年後見センター相談件数	662 件	1,289 件	946 件

地域包括支援センターでの相談については、市・社会福祉協議会のホームページや広報掲載。認知症の相談時には、市で作成をしたケアパスを利用し、介護保険制度などの説明を実施。

総合相談、成年後見センターの相談件数は、増えてきていることが分かる。しかし、総合相談での認知症についての相談割合は減少傾向である。相談の件数は増えてきているため、相談者が、認知症の可能性に気づかずに相談を受けている可能性がある。

- ・認知症地域支援推進員の設置

	内 容	令和 7 年度
認知症地域支援推進員	市町村ごとに配置され、認知症の人や家族への相談や対応、地域の支援機関間の連携作りなど認知症に関する業務を専門的に行う	市役所 2 人 地域包括 2 人

認知症についての専門的な相談に対応するために、市役所と地域包括支援センター（兼務）に合計 4 名を設置。（令和 7 年度から地域包括支援センターに設置）

(2) 早期発見・早期対応、医療体制の整備

(令和 7 年 12 月末現在)

	内 容	令和 6 年度	令和 7 年度
認知症初期集中支援	認知症が疑われる方及びその家族を訪問、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活に向けたサポート会議	5 人	9 人

必要なケースについてはすべて、チーム員で検討できていると考えられる。

(3) 認知症に関する地域の理解促進

・清須市のキャラバンメイト及び認知症サポーター数

(令和 7 年 12 月末現在)

	内 容	令和 6 年度	令和 7 年度
認知症 キャラバンメイト	認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく方	—	登録者 97 人
認知症 サポーター	サポーター養成講座を受講し、認知症について正しく理解し、本人や家族を温かく見守り、支援する方。受講者にはオレンジリングを贈呈	194 人	240 人

・認知症サポーター数は、新規に養成講座を受けた方の人数。

・令和 7 年度 認知症サポーター養成講座実施状況

【福祉実践教室として実施】 5 校 (星の宮小、清洲小、新川小、春日小、西枇杷中) 204 人

【市民公開講座】 令和 7 年 9 月 11 日 (木) 一般市民 33 人

【行政出前講座】 企業 (フジミインコーポレーテッド) 71 人

・令和 7 年度 キャラバンメイトのスキルアップ研修会

日 時	令和 8 年 2 月 5 日 (木) 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分
対 象	認知症キャラバンメイト 約 60 名
内 容	講 演 「新しい認知症観について」 講 師 いのくちファミリークリニック院長 遠藤英俊 氏 グループワーク「認知症の方とその家族が、安心して住み慣れた地域で暮らせるように」

・その他の認知症についての啓発

世界アルツハイマーデー及び月間 (9 月) に合わせて図書館に掲示を行い、市民への周知を行っている。

(4) 認知症に関するその他の施策

(令和 7 年 12 月末現在)

	内 容	登録者
認知症高齢者 事前登録	徘徊のおそれのある高齢者等が行方不明になった場合に早期に発見し保護するために必要な情報を事前に登録する制度	124 人
個人賠償 責任保険事業	偶発的な事故が原因で他人にけがを負わせたり、他人の財物を壊したりして本人や家族が損害賠償責任を負ってしまった場合にその賠償を補償するもの	88 人
認知症高齢者 見守りシール	行方不明になった際、衣類等に貼った QR コードが読み取られることで保護者へ発見のメールが届くもの	36 人

認知症の高齢者を見守っていく体制を構築する目的で実施している。申請される方は、年々増えている状況。

(5) 介護者への支援

(令和 7 年 12 月末現在)

事業名	内 容	令和 7 年度
家族介護者交流カフェ & オレンジカフェ	コーヒー等を飲みながら気軽にお話することで介護ストレスの軽減の場、地域とのつながりの場としている	78 人

【福祉カフェ】 かぼちゃカフェ (清洲の里)、なごみカフェ (ペガサス春日)、スマイルカフェ

認知症の相談を受けた際に、カフェを紹介。家族介護者交流カフェについては、清須市地域包括支援センターに委託し実施。

3 今後に向けて

(1) 認知症計画の策定

第10期介護保険事業計画に合わせて、認知症についての計画を作成予定。現在、アンケート調査が終了し分析中。

令和8年度は、計画への意見を聞くためのワークショップや一般市民への啓発のため講演会を実施予定。

(2) 認知症カフェの開設・普及支援

名 称	地 区	場 所
かぼちゃカフェ	月に1回	清洲の里
なごみカフェ	随時	ペガサス春日
スマイルカフェ	3か月に1回	西枇杷島地区

市内にあるカフェ2か所は、福祉施設内にあるため、一般の方が利用しにくい状況。認知症になっても安心して暮らせる清須市を目指して、カフェを普及させていく予定。

(愛知県603か所、うち北名古屋8か所、あま市14か所あり)

(3) 企業向け研修実施

	令和11年度(目標値)
認知症サポーター養成講座受講者数	490人

認知症の方が生活しやすい清須市を作るため、市内の事業者に認知症についての研修を勧め、認知症についての知識を啓発予定。

(4) 本人発信支援

認知症になった方本人の意見を取り入れることを行ってこなかったため、今後は、認知症の方本人や家族が起点となった事業の実施について検討中。

認知症の方本人の意見を取り入れた事業を実施することで、本人の社会参加が促進されると考えられる。認知症という疾患にとらわれることなく、すべての高齢者が暮らしやすい社会を実現していきたいと考えています。